

平成30年第1回北海道議会定例会 予算特別委員会 補正集中審議 開催状況
(経済部地域経済局中小企業課)

開催年月日 平成30年3月9日
質問者 日本共産党 真下 紀子 委員
答弁者 経済部長

質 問 要 旨	答 弁 要 旨
<p>二 中小企業総合振興資金貸付金について</p> <p>(真下委員) 次に、中小企業総合振興資金貸付金について伺います。 この資金については、今回の最終補正予算において、約217億円の減額補正になっています。 ほかの委員からも指摘が出ているところですが、この資金の減額補正の要因は、例年、新規融資実績が伸び悩んだためと、こう承知をしておりますが、地域経済の活性化に向けて、中小企業の経営維持や競争力強化を図るためには、金融面の支援というのは、これは欠かせないものと考えております。とりわけ資金調達が乏しい小規模企業へは、円滑な資金提供は、企業の血液とも言われるものです。 小規模企業向け融資の実績は前年度と比較してどのようになっているのか、また、道として、金融機関などと緊密な連携を行い、小規模企業向け融資の利用拡大を進めていくことが必要と考えますが、今後どのように対応していくのか伺います。</p> <p>(真下委員) 前年同期比94.4パーセントということなんですけれども、前年も活用が少なかったわけですから、それをさらに伸ばしていただきたいというふうに思いますし、せっかくの予算ですから、適切な活用ができるように工夫して、道内で進んでいる小規模事業所の廃業を止めるという覚悟で臨んでいただきたいというふうに思います。</p>	<p>(経済部長) 小規模企業向け融資の実績などについてであります。中小企業総合振興資金のうち、小規模企業貸付の本年1月末までの融資実績は、2,626件、約163億2,300万円となっております。前年同期比94.4パーセントで、前年並みとなっております。でございます。</p> <p>道といたしましては、地域経済を支える小規模企業の経営の安定には資金調達の円滑化が何より重要であると認識しております。これまでも融資制度の利用促進を図るため、各種広報媒体の活用、金融機関等の研修会や会議への出席、展示会でのPRなど、様々な機会を捉えて制度の周知に努めるとともに、融資期間の延長や短期資金の取扱いの追加、保証料率の引き下げなど、融資制度の拡充を行ってきているところでございます。</p> <p>今後とも、企業の経営環境の変化や資金ニーズを的確に把握し、必要な予算額の確保や融資制度の不断の見直しに努めるとともに、金融機関や信用保証協会など関係機関との一層の連携のもと、小規模企業の事業活動を金融面から支援してまいりたいと考えてございます。以上でございます。</p>